

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7年 1月20日			
事業所名		公表日 令和 7年 1月20日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点／課題・改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		【工夫している点】 ・活動内容や利用者の特性に応じて、和室を使用して個別対応するなど、複数の部屋を使い分けています。 ・イラストや写真を活用し、視覚支援を取り入れています。 ・掃除、消毒、換気を行い、心地よく過ごせる空間づくりを行っています。 【課題・改善目標】 ・法令の人員基準は満たしていますが、活動内容や児童の様子によって、人手不足を感じることもある為、事前準備やスタッフ配置の工夫によりサービス向上に努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	【工夫している点】 ・随時会議を行い、問題点等を話し合っています。 ・自己評価の結果については、事業所内で情報共有をはかり、改善を目指しています。また、事業所ホームページにて公開しています。 【課題・改善目標】 ・コロナ禍後、外部研修への参加が少しずつ可能になったとはいえ、人手不足等で、研修機会の充実が難しい現状があります。オンライン研修の活用を行い、資質向上に努めます。 ・PDCAサイクルについて、全スタッフに目標の周知ができていない為、日々の情報共有だけでなくとどまらず、目標の共有や話し合いの機会を設けるよう努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	4	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2	【工夫している点】 ・送迎時やLINE等で聞いたニーズ等は速やかに児童発達支援管理責任者に報告し、情報共有に努めています。 ・利用者一人一人の特性に応じたサービス計画を作成し、6ヶ月ごとに見直しを行っています。 ・サービス計画では、個別の目標と集団活動での目標を組み合わせ、支援内容を設定しています。 ・身体を動かす活動、工作、買い物等、さまざまな活動を設定しています。また、季節行事の活動も織り交ぜたり、利用者のリクエストを反映させたり、利用者が楽しめるよう工夫をしています。 ・長期休暇には、平日には出来ないような活動（外出など）を設定しています。 ・毎日、一人一人の様子を記録し、子どもの状況やペースに合わせた集団活動ができるようサポートしています。 ・スタッフ間の情報交換、役割分担、気づいた点は、LINE等を使用してこまめに連絡を取り合い、共有できるようにしています。 ・支援プログラムについては、今年度中の公表を目指して作成中です。 【課題・改善目標】 ・会議により支援内容の検証を行っているが、より充実した支援を行う為、適切な活動内容の設定を行っています。 ・気づいたことや連絡事項等、必要なことはスタッフ間で共有して
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点／課題・改善目標
切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	いるが、毎日必ずではない為、できるように改善します。 ・利用者が安心・安全に過ごすことができる空間を提供する為、スタッフの充実をはかります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	2	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	1	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		【工夫している点】 ・担当者会議については、児童発達支援管理責任者が参加しています。 ・学校行事、送迎時間、トラブル等については、連絡帳、電話、LINEを通じて保護者との情報共有をはかっています。 【課題・改善目標】 ・障害のない子どもとの交流や地域参加は実現できていない為、交流機会を設定できるよう努めます。 ・保護者からの相談等に迅速に対応できるよう、家族支援プログラムも念頭におき、体制を強化していきます。 ・学校や相談支援員との情報共有を行っているが、一体的な支援を目指して、より綿密な支援体制をつくれるよう努めます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点／課題・改善目標
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	1	【工夫している点】 ・問題や相談の申し入れについては、連絡帳、電話、LINEにて迅速に対応しています。 ・活動概要や行事については、毎月の予約票や文書を通じて、保護者にお知らせしています。 【課題・改善目標】 ・保護者会の開催や地域住民との交流の機会は設けられていないが、状況に応じた面談や情報交換によって、保護者同士の繋がりや地域住民との交流ができるよう体制を考えていきます。 ・運営規程、利用者負担等については契約時に説明し、サービス計画については同意上でサインしていただいています。変更等があれば書面や口頭により随時説明していますが、よりわかりやすく丁寧な説明を心がけます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		5	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	1	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	【工夫している点】 ・月1回、活動の一つとして避難訓練を実施し、様々な災害を想定して内容を設定しています。 ・食物アレルギーや服薬、発作等については、保護者より医師の指示事項や注意点を聞き取っています。また、変更等があれば、保護者から随時連絡をいただき把握しています。 ・ヒヤリハット事例は定型書式でまとめ、月1回の会議にて共有・精査しています。 ・年間の研修計画において、虐待防止研修を設定しています。 【課題・改善目標】 ・各マニュアルについては、適宜見直しを行い整備します。 ・身体拘束を行うか否かも含め、利用時の対応については、事前に保護者への丁寧な説明を行い、理解・信頼を得られるよう努めます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		